

広報

my hometown TOMIOKA 2015

12

No.638

とみおか



激走、チーム富岡
第27回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会

主な目次 Contents

富岡町市政懇談会質疑応答	02~04
各課からのお知らせ	08~11
とびっくす	12~14
こんにちは。大玉仮設診療所です!	15
さくらスポーツインフォメーション	16~17
TOMIOKA桜通信	18~23
町内の放射線量	24~25

平成27年度富岡町町政懇談会 質疑応答

平成27年度富岡町町政懇談会を10月15日から11月4日まで1都6県、8会場で計10回開催し、述べ368人の方に参加いただきました。

懇談会当日に町民の皆さんからいただいたご質問と、それに対する町の回答を取りまとめたものを掲載いたします。

町の復興・帰町判断

Q.復興拠点以外の地区における実施計画は。

A.二次復興計画の実現に向け、まずは町の復興の先駆けとなる曲田・岡内地区及び役場周

辺の実施計画を示した。現在は、帰町計画や保健・福祉、「第3の道」(長期退避・将来帰還)などの実施計画を順次作成する予定で、各々着手し始めたところである。

Q.富岡町民全員が一緒に帰町するののか。

A.震災直後、一斉帰還を目標として町の復旧・復興事業に取り組んできた。しかし、現時点で帰還困難区域内の除染計画が示されておらず、帰還困難区域内住民の自宅への帰還時期は見通せない状況となっている。また、避難指示解除準備及び居住制限区域内でも家屋荒廃が進み、居住できない家屋も存在している。このような状況下においても住民からは早期帰還を望む声があるため、拠点地区内における公営住宅をはじめ町全体の住宅整備計画を作成し、町内で生活できる環境を整える。

が、町は更なる復興予算の確保と新たな制度を求めて国に要望していく。

町内の除染・放射線量

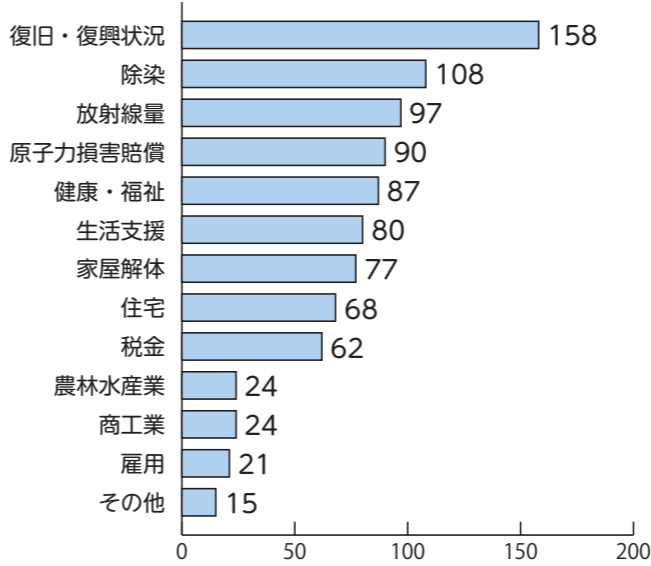
Q.年間追加被ばく線量20mSvでも避難指示区域を解除するののか。

A.避難指示解除は、空間線量をはじめ町内のインフラ復旧、生活関連サービスが整備されるとともに、議会はじめ町民の皆さんの意見やこれまで解除した他町村の状況も踏まえて総合的に判断したい。

Q.意に沿わない農地除染作業であった。作業に町担当者が立ち会うことはできないか。

A.除染作業については、面積が広大で全筆立会いは困難。その都度、状況に応じて個別に確認させていただく。

【町民の皆さんが知りたい情報】



※会場で行ったアンケート調査によるもので、「知りたい情報はどれですか? (複数回答可)」の結果を集計したものです。



9月に完成した復興拠点整備アクションプラン

Q.早ければ平成29年4月の帰町開始は実現できるののか。

A.帰還困難区域以外の地域における除染作業やライフラインの復旧は、平成29年3月末までに完了する予定である。国・県・町は、様々な復旧・復興事業の目標時期を設定し、その目標に向けて努力していく。

Q.帰町後の町財政は。

A.国は平成28年度から平成32年度までを復興創生期間として復興予算を確保し、復興を再加速する。それ以降については、不透明な部分が多々ある

る健康維持・増進につなげて町民の健康を見守っていく。

生活支援

ビジネス事業等の支援サービス事業を再構築していく。

Q.居住制限区域内に富岡町交流サロンを設置した意図は。

A.町の中心部で復興拠点となる場所であることから、一時帰宅する町民の利便性や復興拠点に町民が集まることを考慮して設置した。線量を測定し、安全に利用できる環境をつくっている。



Q.帰町した際の医療体制は。

A.町内の曲田地区内に平成28年度秋の開所を目指す、町立診療所の整備を進めている。また、入院設備を備えた二次救急医療については、いわき・相馬地区等の大きな病院との連携体制が必要であるとともに、双葉郡の大きな課題であることから現在、福島県と双葉郡町村等で協議を進めている。

Q.帰町する高齢者に対する支援サービスは。

A.高齢者が自宅等で安心して生活できるよう、見守り・家庭訪問・グループ活動等の支援の他に、訪問介護サービス事業や交流の場となるデイサー

【除染進捗率】 (平成27年10月31日現在)

対象地目	対象数量	進捗率	完了率
宅地	5,031,400㎡	78%	74%
農地	6,725,900㎡	77%	40%
森林	4,620,500㎡	99%	99%
道路	1,544,800㎡	84%	83%
全体	一式	85%	72%

Q.再除染を行う判断材料と手法は。

A.空間線量が周辺より高い雨どいや集水桝などのホットスポットと言われる箇所をサーベイメーター等で計測し、線量の高い部分は深く広くはぎ取るなど、状況に応じて対応する。コンクリートやアスファルト等は必要に応じて再舗装するなどの方法を検討している。

家屋解体

Q.帰還困難区域の家屋解体は。

A.環境省は、帰還困難区域内の除染計画が未作成であるため、家屋解体はできないとしている。

しかし、家屋倒壊による事故等を未然に防ぐため、除染とは別に家屋解体を実施するよう要望している。

Q.母屋を残し、物置等だけを解体することは可能か。

A.手続きの都合上、まず母屋の罹災証明書を取ることが前提となる。その判定結果が半壊以上の場合、物置等も含めて解体範囲を指定できるように対応する。また、母屋が半壊未満で物置が損壊している場合は個別に相談を受ける。

町内インフラ復旧

Q.上水道は安全で安心して飲めるののか。

A.町内の水源は、木戸ダムと富

医療・福祉

Q.生涯追跡する町民の健康管理のデータバンクが必要ではないか。

A.長期的な被ばく線量管理、町民の健康管理を目的に健康手帳の配布や個人積算線量計の貸し出しを行っている。今後、皆さんのご理解のもと、県民健康調査・個人被ばく線量管理・健康診断等の結果を一元管理し、将来にわた



→富岡町交流サロン(平成27年10月開所)
※防護服やねずみ取りシートの配布、線量計の貸出のほか、ウォーターサーバーや水洗トイレを完備。

町内での医療福祉・介護サービス再構築に向けて 保健・福祉アクションプラン検討委員会設置



第1回委員会で挨拶する渡辺幸雄委員長(中央)

町への帰還に向けた総合的な保健・福祉について検討する、富岡町保健・福祉アクションプラン検討委員会が10月30日に設置されました。

この委員会では放射線対策や健康づくり、町内での保健・福祉等の充実などについて議論し、平成28年3月までに具体的な進め方をまとめあげていきます。

第1回委員会では、高齢者や児童福祉、障がい者、医療分野など12人の委員に委嘱状を交付した後、齊藤紀明副町長が「町内での医療や介護、福祉サービスへの希望が多くあります。町民の皆さんが安心して帰還するためには、最も重要な課題だと考えています」と挨拶しました。

安全安心に暮らせる生活環境を整備する帰町計画を作成 富岡町帰町検討委員会設置



委嘱状を受け取る渡邊正義委員長

11月11日、第二次復興計画で掲げた「早ければ平成29年4月の帰還開始を目指す」の実現に向け、町内で安全安心に暮らすために考慮すべき要件の整理や生活環境の適切な評価、安全安心に帰還するための生活環境充実施策などを含めた「帰町計画」を作成する帰町検討委員会を設置しました。

この検討委員会は、放射線に関する有識者や県等の関係機関、医療・福祉、産業、教育など幅広い分野の委員12名で構成しています。

委員長に選任された渡邊正義さんは「町民の皆さんの視点にたち、安心感を持って帰還できることにつながるよう努力します」と挨拶しました。

戦没者の冥福を祈り、恒久平和を祈念 平成27年度富岡町戦没者追悼式・慰霊祭



町内仏教会による読経

11月5日、富岡町戦没者追悼式及び遺族会主催による慰霊祭がいわき市のせきのホール鹿島で行われ、約40名のご遺族が参列されました。

参加者全員で黙祷をささげた後、宮本町長が「必ずや復旧・復興し、新たな富岡町の再生を成し遂げることを誓います」と式辞を述べ、町内の戦没者246柱の冥福を祈りました。

その後行われた富岡町遺族会主催の富岡町戦没者慰霊祭で猪狩利衛会長が祭文を読み上げ、町内の仏教会による読経で哀悼の意を捧げました。

Q.平成29年4月以降も応急仮設住宅や借上げ住宅に住むことは可能か。

A.応急仮設住宅や借上げ住宅への入居期間は、避難指示解除後の状況や復興公営住宅の整備状況により判断することになっていく。復興公営住宅の中には平成30年以降に入居予定の計画もあるため、入居期間の延長は福島県に確認しながら順次お知らせしていく。

Q.町内の住宅整備計画は。

A.復興拠点内に50戸の戸建て住宅(2〜3LDK)を、平成29年4月完成予定で計画しているが、需要調査をしながら集合住宅も考えている。全体的な計画は、今年度末までにお示しする。

ながりを広げていけるような情報発信をしていく。

農業・産業

Q.町の基幹産業である農業の再生・創出について、町の考えは。

A.農地の保全管理を目的とした農業復興組合が平成27年2月に発足し、現在まで町内の4地区で除染後農地の管理を行っている。その除染後農地は、土壌を含めた線量等調査に伴い試験栽培を行うなど帰町する住民の意欲醸成につなげていく。

Q.遠方に避難しており、農地の自己管理が難しい。農地の保全に関する支援はあるか。

A.農地は自己管理が原則であるが、農地の保全管理や防火防災など町の復興と安全性のために町民の皆さんと町が協力し合って管理していく。



農業復興組合(平成27年2月)

Q.廃炉国際共同研究センターの「国際共同研究棟」に放射性物質を持ち込み、研究するのは。

A.放射性物質は持ち込まずに、データ等をもとに研究を行う施設である。

原子力損害賠償

Q.原子力損害賠償6分の1の支払い時期は。

A.早期賠償を求めているが、原発事故発災から6年後以降に賠償されることになっている。

最終処分場

Q.町の低線量地区に設置されるのは、帰還意欲の低下や風評被害などが懸念される。施設の新設など、適地選択を。

A.施設新設には広大な土地が必要となる。現在町は、町民の皆さんが安全・安心して住むことができる対策として具体的な安全対策と地域振興策、雇用対策等を講じるよう国に申し入れている。



国への申し入れ(平成27年8月25日)

〈町内におけるごみの処分〉
Q.施設入所や入院、亡くなった場合、家屋のごみの片付け申請や立合いの方法は。

A.賃貸借住宅であれば、保証人や対応が可能な方に代理で申請や立合いを行ってもらうのが基本的な考え。身寄りがない場合、代理人が申請や立会ができない場合は、復興推進課で個別に対応する。

〈実施計画の作成〉
Q.町民の意見が反映された諸計画を作成を願いたい。

A.実施計画作成にあたり、分野ごとに町民の皆さんに参加していただくことは常々検討しているが、専門知識が必要なものは専門家に依頼せざるを得ない。委員の方には、町民の立場になって議論等していただくようお願いしている。

〈第3の道の選択〉
Q.帰町しない決断をして生活再建をした。町内の土地や家屋はどうなるか。

A.長期退避される方や帰還しないと決断された方に対する資産管理について、その仕組みを今後検討していく。

その他

窓口で申込みをする場合

① 富岡町役場(郡山事務所、いわき支所、三春・大玉各出張所)の窓口で申込みの場合

12月1日以降、役場窓口へ「個人番号カード交付申請書」と通知カード、本人確認書類を持参のうえ、申込み手続きをしてください。また、富岡町の応急仮設住宅でも臨時窓口開設を予定しています。詳しくはホームページなどでお知らせします。

富岡町役場ではこの方法をお勧めします！

② お近くの市区町村役場の窓口で申込みの場合

お住まい(避難先)の市区町村の役所窓口にて「個人番号カード交付申請書」に顔写真を貼り付け、通知カードと本人確認書類を持参のうえ、申込み手続きをしてください。

1月以降、避難先住所宛てに個人番号カードが送られてきます

平成28年1月以降準備ができ次第、富岡町役場から避難先の住所宛てに「個人番号カード」が簡易書留で送られてきます。

窓口以外で申込みをする場合

郵送で申込みの場合

- ①「個人番号カード交付申請書」に顔写真を貼り付けます。
- ②交付申請書を返信用封筒に入れてポストに投函。

ウェブサイトで申込みの場合

- ①お手持ちのスマートフォンなどのカメラで顔写真を撮影する。
- ②交付申請書に印刷されているQRコードで、申請用サイトを開き、必要項目を入力してから顔写真を添えて送信。

証明写真機で申込みの場合

- ①交付申請書を持参のうえ、申請可能な証明用写真機に入る。
- ②タッチパネルから「個人番号カード申請」を選択し、料金を入れてから交付申請書のQRコードを読み込ませ、画面の案内に従って、必要事項を入力してから顔写真を撮影して送信。

個人番号カードは富岡町役場窓口(郡山・いわき)で受け取ります

- ・平成28年1月以降に、交付の準備ができた方へ交付通知書が送られます。
 - ・通知書が届いたら、「届いた書類」「運転免許証などの本人確認書類」「通知カード」と一緒に富岡町役場郡山事務所又はいわき支所へ。
 - ・窓口にて本人確認のうえ、暗証番号を設定していただいてから個人番号カードが交付されます(通知カードは返却いただきます)。
- ※カード発行の所要時間は、1人あたり40分程度の予定です。

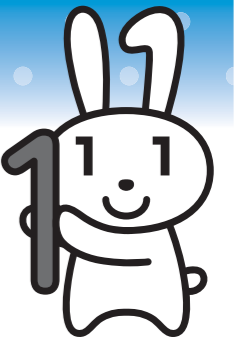
ご注意ください
郡山事務所・いわき支所以外の窓口では受け取れません。

※注意※
通知カードは転送できない簡易書留で送られますので、避難先が変わっている方やお手元に届いていない方は役場までご連絡ください。

マイナンバー制度のお問い合わせは
マイナンバーコールセンター
0570-20-0178
(全国共通ナビダイヤル 平日 9:30~17:30)

富岡町役場の担当、お問い合わせは
住民課住民係
0120-33-6466
(平日 8:30~17:15)

第6回 マイナちゃん通信



平成27年
11月から
マイナンバーを
一人ひとりの
町民のみなさまへ
お届けします！

国では、平成27年11月から白い封筒に入った個人番号通知カードを、1人ひとりに簡易書留で現在お住まいの居所(避難先)へ郵送しています。

- マイナンバー(個人番号)は、平成28年1月から確定申告や給与支払報告書への記載、雇用保険の資格取得や確認など様々な手続きに必要となってくる大切な番号です。通知カードは必ず受け取り、大切に保管してください。

マイナンバー制度に便乗した不正な勧誘や個人情報の取得にご注意ください！

マイナンバー(個人番号)は、社会保障、税、災害対策の手続きのために行政機関等に提供する場合を除き、むやみに他人に提供することはできません。

マイナンバーの通知や利用などの手続きで、役場が口座番号や口座の暗証番号、所得や資産の情報、家族構成や年金・保険の情報などを聞いたり、お金を要求したりすることは一切ありません。ATMの操作をお願いすることもありません。

マイナンバーの安全管理対応(セキュリティ)の困難さなどを過度に誇張した商品販売や不正な勧誘には十分注意してください。

マイナンバーは、「通知カード 個人番号カード交付申請書 在中」、「転送不要」と赤字で書かれた封筒に入って、簡易書留で各世帯に郵送されます。普通郵便でポストに入っていることはありません。また、配達員が代金を請求したり、口座番号などの情報を聞いたりすることもありません。

こうした内容の電話や手紙、訪問には応じないでください。

これらは詐欺の手口です！

これらの手口で他人のマイナンバーを取得することは法律により罰せられます。



※不正な提供依頼を受けて自分のマイナンバーを他人に教えてしまっても、刑事責任を問われることはありません。

《不審な電話などを受けたらこちら》

消費者ホットライン 【☎188(いやや!)]

※全国共通3ケタの電話番号によるご案内です。

※最寄りの市区町村の消費生活センターや消費生活相談窓口などをご案内します。相談できる時間帯は、お住まいの地域の相談窓口により異なります。

《詐欺などの被害に遭ったらこちら》

警察相談専用電話 【☎#9110】 又は最寄りの警察署まで(平日8:30~17:15)

※富岡町役場住民課でも、相談を受け付けています。



年末年始の帰還困難区域への立入り(通過を含む)について

12月16日(水)から1月14日(木)は、国コールセンター受付による帰還困難区域への一時帰宅を原則として実施いたしません。何らかの事情により、やむを得ず一時立入り(通過を含む)を行う場合には、生活支援課避難生活支援係までご相談ください。

1 注意点

- ①申請内容の確認、通行証の発行及び郵送期間等を考慮し、立入り予定日の7日前までに申請してください。
- ②年末年始を含む閉庁日(土・日・祝日)には、申請の受付、申請内容変更(立入車

両、立入者等)の受付及び通行証の交付を行うことができませんので、あらかじめご了承ください。

- ③避難指示区域の見直しに伴い、町が各世帯に交付した「立入り証」(青色のラミネート加工されたもの)では、帰還困難区域へ立入りを行うことはできません。
- ④自然災害の発生や気候状況の急激な悪化が見込まれる場合は、立入りをご遠慮いただくことがあります。
- ⑤申請のない帰還困難区域への立入りは、認められません。

2 申請等の方法

国が実施しない12月16日(水)から1月14日(木)は、次の全ての立入りについて、町担当まで申請してください。

- ①町内の帰還困難区域へ一時帰宅する場合
- ②町外の帰還困難区域を通過して、町内の避難指示解除準備区域又は居住制限区域への立入りを行う場合
- ③自宅が町内の避難指示解除準備区域又は居住制限区域

であるが、町内の帰還困難区域にある実家等(墓所を含む)へ一時帰宅する場合があります。

※事業者等の公益目的の一時立入りについても、住民の一時帰宅と同様、年末年始を含む閉庁日(土・日・祝日)には、申請の受付、申請内容変更(立入車両、立入者等)の受付及び通行証の交付を行うことができません。

3 他町への相談

自治体によって取扱いが異なりますので、自宅が町内の避難指示解除準備区域又は居住制限区域であり、他町の帰還困難区域にある実家等へ立入りを行う場合は、次により立入り先の自治体へ相談してください。また、他町の避難指示解除準備区域又は居住制限区域に立入りをする場合についても、立入り先の自治体へ相談してください。

大熊町役場環境対策課

☎0120-26-3844

双葉町住民生活課

☎0246-84-5204

浪江町生活支援課

☎0243-62-0151

個人事業税 課税時期の変更

県では、毎年8月に個人事業税の納税通知書をお送りしていましたが、原則として富岡町に住所を有する方への今年度の納税通知書は、所得税の申告期限延長措置終了に伴い、12月11日にお送りする予定です。

納期限は、第一期分が28年1月4日、第二期分が28年3月31日となります。

なお、複数年分の所得を申告された方には、申告年数分の納税通知書をお送りします。減免制度など、詳しくは県税部までお問い合わせください。

相馬市振興局県税課 課税第一チーム

☎0244-26-1126

相馬税務署からのお知らせ

◆平成27年分の所得税等の確定申告書作成会場について

平成27年分の所得税(及び復興特別所得税)、消費税及び贈与税の確定申告期における申告書作成会場を、次のと

おり開設します。

▽申告書作成会場

相馬市振興ビル

相馬市中村字塚ノ町65-16

▽開設期間等

平成28年2月1日(月)～

3月15日(火)

午前9時～午後4時

※申告書作成会場の開設期間

前と開設期間中、相馬税務

署内には会場を開設しませ

ん。

※開設期間中は申告相談のご

予約を受け付けしません。

※南相馬市内に税務署の申告

書作成会場は開設しませ

ん。

※土・日・祝日は、作成会場

を開設しません。

◆確定申告書の便利な作成方法について

所得税、消費税及び贈与税

の確定申告書の作成にあつ

ては、国税庁ホームページの

「確定申告書等作成コーナー」

が便利です。特に、収入が給

与または公的年金のみの方に

ついては、入力方法がより簡

単・わかりやすくなります。

作成コーナーで作成した申告

書を紙に印刷し、税務署へ郵

送等により提出することがで

放射性セシウム濃度測定日のお知らせ

【ゲルマニウム半導体式核種分析装置(検出限界目標1ベクレル)】
放射能検出に非常に有感な検出器により、小さい値も検出できます。

受付月	測定日	検体受領場所
12月	1月12日(火)	富岡町保健センター (本岡字王塚)
平成28年1月	2月12日(金)	
2月	3月18日(金)	

※富岡町内の水・土壌・果樹等を測定します。
※詳細は、申込まれた方へ翌月初旬にご連絡いたします。
※測定結果の報告には1週間程度かかります。

▶申込み先 富岡町役場産業振興課
☎0120-33-6466
「ゲルマの測定の件」とお伝えください。

【簡易放射能分析装置(検出限界値 20ベクレル)】
20ベクレル以上の放射能を検出します。

実施施設	申込み先
富岡町役場郡山事務所	富岡町コールセンター ☎0120-33-6466
いわき支所	
大玉出張所	
三春出張所	

※各施設で予約を受け付けております。
申込み先へご連絡いただいた際に、希望する検査場所名称と「簡易検査器での放射能測定希望」とお伝えください。

富岡町ごみ出しカレンダー

平成27年 12月							平成28年 1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
11月29日	11月30日	1	2	3	4	5	12月27日	12月28日	12月29日	12月30日	12月31日	1	2
燃えないごみ、ビン類・カン類 ごみ出し日							燃えないごみ、ビン類・カン類 ごみ出し日						
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
燃えるごみ ごみ出し日							燃えるごみ ごみ出し日						
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
燃えるごみ ごみ出し日							燃えるごみ ごみ出し日						
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
燃えないごみ、ビン類・カン類 ごみ出し日							燃えるごみ ごみ出し日						
27	28	29	30	31	1月1日	1月2日	24/31	25	26	27	28	29	30
燃えないごみ、ビン類・カン類 ごみ出し日							燃えないごみ、ビン類・カン類 ごみ出し日						

ごみは分別したうえで、上記の回収日にお出しください。回収業者は、数日かけて町内のごみステーションを巡回し、順次、ごみの回収を行います。粗大ごみやリサイクル対象家電、危険物等は、ごみステーションでの回収はいたしません。

富岡町 復興推進課 除染対策係

「労働困りごと相談会」開催のお知らせ

賃金や労働時間などの労働条件、解雇、退職等の労働に関する困りごとや疑問などについての相談会を開催いたします。相談は無料で、秘密は厳守いたします。

現地相談会は予約なしでもご相談可能ですが、事前予約も受け付け可能です。事前予約をご希望の場合は12月11日(金)16時までとなっております。

日時 平成27年12月13日(日)

◆会場

郡山市労働福祉会館
(郡山市虎丸町7-7)

「会津会場」

会津若松市生涯学習総合センター

(会津若松市栄町3-50)

【お問い合わせ・事前予約先】

福島県労働委員会事務局
(福島市中町8-2 福島県自治会館4階)

☎024-521-7594

E-mail: rondousoudan@pref.fukushima.lg.jp

http://www.rta.go.jp

きます。来署される皆様の待ち時間の軽減につながりますので、ぜひとも国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」をご利用ください。

※平成27年分については、平成28年1月に掲載予定です。

▽国税庁ホームページ

http://www.rta.go.jp

富岡市振興局

☎0244-36-3111

問合わせ先

- 富岡町役場郡山事務所
富岡町議会事務局
〒963-0201
福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5
FAX 024-961-3441
- 富岡町教育委員会
〒963-8025
福島県郡山市桑野2丁目1-1
FAX 024-953-6304
- 復旧課・復興推進課
〒979-1192
福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚622-1
富岡町保健センター内
FAX 0240-25-8254
- 富岡町役場いわき支所
〒970-8024
福島県いわき市平北白土字宮前8番地
FAX 0246-88-1975
- 富岡町役場三春出張所
〒963-7719
福島県田村郡三春町貝山字泉沢100-1
FAX 0247-62-0901
- 富岡町役場大玉出張所
〒969-1302
福島県安達郡大玉村玉井字台45-1
FAX 0243-48-1147
- ※上記への連絡はコールセンター
☎0120-33-6466まで
- 大玉仮診療所
〒969-1302
福島県安達郡大玉村字横堀平158-10
☎ 0243-48-4710
FAX 0243-48-4710
- NPO法人富岡町さくらスポーツクラブ
〒963-8025
福島県郡山市桑野2丁目1-1
☎ 024-983-5299
FAX 024-983-5297
- 富岡町社会福祉協議会
〒963-8041
福島県郡山市富田町字若宮前32
高齢者等サポート拠点施設内
☎ 024-935-3345
FAX 024-935-3346
- おだがいさまセンター
〒963-8041
福島県郡山市富田町字若宮前32
高齢者等サポート拠点施設内
☎ 024-935-3332
FAX 024-935-3334

第67回人権週間のお知らせ

「みんなで築こう 人権の世紀
～考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心～」

12月10日は「人権デー」です

12月4日から10日は「第67回人権週間」です。
国際連合は、昭和23(1948)年第3回総会で世界人権宣言が採択されたのを記念し、採択日の12月10日を「人権デー(Human Rights Day)」と定め、加盟国に人権の発展をさらに推進するよう呼びかけています。福島地方法務局では常設人権相談所を開設しておりますので、お気軽にご相談ください。

福島地方法務局いわき支局(いわき市平字堂根町4番地11 いわき地方合同庁舎内) ☎0246-23-1651
差別、いじめ、嫌がらせ等人権に関する問題でお困りの場合は、法務局の人権相談をご利用ください。

みんなの人権110番 ☎0570-003-110
女性の人権ホットライン ☎0570-070-810
子どもの人権110番 ☎0120-007-110
法務省人権相談に関するホームページ
http://www.moj.go.jp/JINKEN/index_soudan.html

人権擁護委員とは？

人権擁護委員とは地域住民の中から人格識見が高く、広く社会の実情に通じ、人権擁護に理解のある人を市町村長が推薦し、法務大臣が委嘱した民間のボランティアの人たちです。

現在、約14,000名の委員が全国の各市町村に配置され、街頭啓発、講演会や座談会を通じて、人権の大切さについて理解を深めてもらうための活動にも努めており、法務局の人権相談所や自宅などで住民の皆さんからの人権相談を受けるなど、積極的な活動を行っています。

福島県人権啓発活動ネットワーク協議会
http://www.moj.go.jp/jinkennet/fukushima/fukushima_index.html

人権イメージキャラクター



人KENまもる君 人KENあゆみちゃん

関係する住民係

係までご連絡ください。

住民登録があり、掲載を希望された方のみです。町外に転出された方で、掲載を希望する方は富岡町役場住民課係までご連絡ください。

慶弔の掲載について

- 渡邊 哲藏 70(下千里)
- 菅野 ユキコ 90(中央)
- 遠藤 豊 84(高津戸)
- 佐藤 チヨ 85(王塚)

お悔み

双葉地方水道企業団からのお知らせ

富岡町内の一部の地区における水道の使用開始(再開)について

新たに1月から一部の地区において水道の使用を開始(再開)いたします。水道の使用開始(再開)を希望されるお客様は、事前に企業団へお電話にてお申込みください。お客様の立会いのもと、安全を確認したうえで給水いたします。

水道料金については、当面の間、使用水量が累積10㎡以上になったときの検針月に請求いたします。

なお、水道メーター付近の調査及び止水作業、並びに検針業務のため、引き続きお客様の敷地内へ立ち入らせていただく場合がありますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



水道水中における放射性物質のモニタリング結果

- 1.測定機関 双葉地方水道企業団
- 2.分析装置 ゲルマニウム半導体検出器
- 3.検査頻度 毎日
- 4.測定方法 緊急時におけるガンマ線スペクトル解析法【放射能測定マニュアル(文部科学省)】
- 5.検査結果 以下のとおり

平成27年9月28日～10月31日分(毎日採水、毎日検査)

採水場所	水源	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
小山浄水場	木戸川(ダム放流水)	不検出	不検出	不検出
関根浄水場	富岡川(伏流水)	不検出	不検出	不検出

※いずれの検体も、10月31日時点で放射性物質は不検出です。
※「不検出」とは、一定の条件で測定機器が検出できる最小値(1.0Bq/kg)未満であることを示しています。
※最新の検査結果は、企業団ホームページ (<http://www.f-mizu.jp>) をご覧ください。

【参考】検査日現在の目標値 (単位: Bq/kg)

	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
食品衛生法の規定に基づく新たな基準による目標値	—	10	10

※これまで暫定規制値が設定されていた放射性ヨウ素については、半減期が短く、国に平成23年7月15日以降の検出報告がないことから、規制の対象から除外されました。

☎ 双葉地方水道企業団 〒979-0515 檜葉町大字上小埜字小山6-2 ☎0240-25-5315(代)
【開庁時間】8時30分～17時15分(平日)

復旧課からのお知らせ

富岡町内の一部の地区における水道再開に伴う下水道の使用再開について

上記地区において上水道の使用再開に伴い、同地区内の下水道の使用を再開いたします。

なお、下水道の使用再開にあたっては事前申込み等は不要となり、上水道の申込みをされた方はその時点で下水道も使用再開されます。

使用料については、当面の間、使用水量が累積10㎡以上になったときの検針月に上水道の使用料と併せて請求いたします。

※宅内の排水設備等に不具合が生じた場合は、使用者本人の負担により修繕(依頼を含む)を行って頂くこととなります。

☎ 富岡町役場 復旧課 〒979-1192 富岡町本岡字王塚622-1 ☎0240-25-8224
【開庁時間】8時30分～17時15分(平日)

ふるさと富岡への思いを込めて 町立幼稚園・小中学校三春校 学習発表会



10月31日、三春校において町立幼稚園・小中学校の学習発表会が行われました。

今年のスローガンは小学校が「とどけよう みんなの心に笑顔を」、中学校が「舞え！富岡魂！」。子どもたちの元気いっぱいの発表に、会場を訪れた保護者から大きな拍手が送られました。



また、中学生による総合的な学習の発表では、生徒らが調べた富岡の歴史や思い出が込められ、ふるさと富岡を感じられる素敵な時間になりました。



鈴木 重利さん
国保関係功績者厚生労働大臣表彰受賞

平成27年度国民健康保険関係功績者厚生労働大臣表彰式において、鈴木重利さん(中央)が厚生労働大臣から栄誉を受けられました。

鈴木さんは、24年9ヵ月の長きにわたり町国民健康保険運営協議会委員として活躍。この間、国保事業の重要性を十分に認識され、保健事業や国保税条例等に係る重要案件にあたるなど、本町国保事業の充実と健全な事業運営に貢献されました。



受賞報告に訪れた鈴木重利さん(右)

富岡消防署臨時拠点が開所

10月30日、富岡町消防団第一分団屯所(富岡町中央)において、富岡消防署臨時拠点開所式が行われました。式では大和田仁次長が開所宣言し、宮本町長が「有事に際して機動性が高まり、救われる生命、財産をより確かに守ることができます」と祝辞を述べました。

今回の臨時拠点設置は、富岡町や署管内で発生する災害や事故に対する初動体制の迅速化を目的としたもので、午前9時から午後5時まで職員3名が常駐し、消防ポンプ車と救急車各1台が配備されます。



祝辞を述べる宮本町長

ふるさと生産組合
町内生産米 全量全袋検査を実施

10月16日、JAふたば檜葉低温倉庫において今年町内で生産された米の全量全袋検査が行われました。この米は、国の「米の作付等に関する指針」に基づき、避難指示解除準備区域である原下地区でふるさと生産組合の実証栽培により生産されたものです。

全量全袋検査は県内で生産された全ての米を対象として実施されており、今回検査された町内産米に食品衛生法に規定する基準値(100Bq/kg)を超えるものはありませんでした。

渡辺組合長は「町の基幹産業である農業の復興なくして町の復興はない。検査の結果により、米が安全であることをPRすることで営農意欲の向上につながってほしい」と期待を寄せました。



不検出を確認する組合員

心のつながりを保つために
富岡町シンボル検討委員会開催

10月18日、第1回富岡町シンボル検討委員会が開催されました。この委員会は、中学生や新成人の若い世代から60代のベテランまで幅広い世代の代表10名から構成されており、全国に避難している町民や富岡町を応援していただける方々とのつながりを維持していくことを目的とした公式マスコットキャラクターやキャッチフレーズの選考を行うために設置されました。今回の委員会では、399件の公募の中からマスコットキャラクターを決定しました。



検討委員によるキャラクター選考の様子

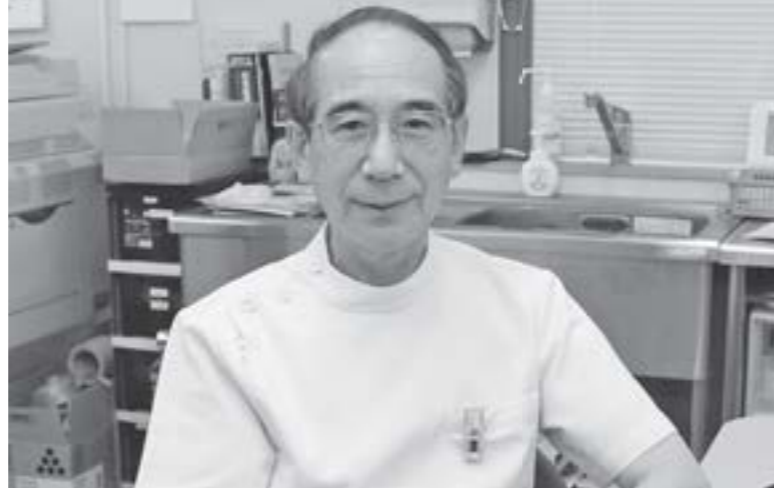
私たちのお医者さん

こんにちは。大玉仮設診療所です！



第24回 「冬場の健康管理」

井坂 晶 医師 (富岡中央医院)



陥りやすい季節です。因の第3位になった「肺炎」に
こじれやすく、更には死亡要
なりませす。その風邪も長引き、
いてくると風邪を引きやすく
さで、寒さ厳しい冬が近づ

「早くなんとかしないと」と焦
る気持ち募るばかりです。
厳しい冬は今年で終わらせた
いものですね。

期かと思えます。
早いもので、東日本大震災
から5度目の冬を迎えます。
いまだに仮設住宅で生活され
ている方も多くいます。復興
庁が福島市に拠点を置いてい

も、なかなか復興を実感す
ることができません。ストレ
スばかりが膨らむばかりで、
「早くなんとかしないと」と焦
る気持ち募るばかりです。
厳しい冬は今年で終わらせた
いものですね。

仮

設住宅での生活も長
引きました。がやっ

さで、寒さ厳しい冬が近づ
いてくると風邪を引きやすく
なりませす。その風邪も長引き、
いてくると風邪を引きやすく
さで、寒さ厳しい冬が近づ

「早くなんとかしないと」と焦
る気持ち募るばかりです。
厳しい冬は今年で終わらせた
いものですね。

期かと思えます。
早いもので、東日本大震災
から5度目の冬を迎えます。
いまだに仮設住宅で生活され
ている方も多くいます。復興
庁が福島市に拠点を置いてい

も、なかなか復興を実感す
ることができません。ストレ
スばかりが膨らむばかりで、
「早くなんとかしないと」と焦
る気持ち募るばかりです。
厳しい冬は今年で終わらせた
いものですね。

さで、寒さ厳しい冬が近づ
いてくると風邪を引きやすく
なりませす。その風邪も長引き、
いてくると風邪を引きやすく
さで、寒さ厳しい冬が近づ

「早くなんとかしないと」と焦
る気持ち募るばかりです。
厳しい冬は今年で終わらせた
いものですね。

期かと思えます。
早いもので、東日本大震災
から5度目の冬を迎えます。
いまだに仮設住宅で生活され
ている方も多くいます。復興
庁が福島市に拠点を置いてい

も、なかなか復興を実感す
ることができません。ストレ
スばかりが膨らむばかりで、
「早くなんとかしないと」と焦
る気持ち募るばかりです。
厳しい冬は今年で終わらせた
いものですね。

大玉仮設診療所診療日

曜日	診療科目	担当医師
月	休診	
火	休診	
水	休診	
木	内科・外科	井坂 晶
金	内科	堀川章仁



友好都市・杉戸町産業祭で富岡復興支援

11月3日、埼玉県杉戸町のアグリパークゆめ
すぎとにおいて、第27回杉戸町産業祭が開催
されました。

開会セレモニーでは、杉戸町古谷松雄町長
から富岡を元気づける挨拶をいただき、宮本
町長が震災時における避難所運営など、支
援への御礼と復興に向けた決意を述べまし
た。また、出展コーナーにおいては、おだ
がいさま工房が制作するハンカチやバッグ
を販売するなど、今年で5年目となる友
好都市の関係がさらに深まっていることが
感じられました。



開会セレモニーで挨拶する宮本町長

町復興のために プロレスラー宮本和志さんより義援金

10月30日、当町(夜の森駅前北)出身で
プロレスラーの宮本和志さんが役場郡山事
務所を訪れ、宮本町長に義援金を手渡し
しました。

この義援金は、同月25日に開催された
東日本大震災復興支援チャリティープロ
レスの会場で行われた募金活動で寄せら
れた浄財です。宮本さんは「町民の皆さ
んが元気を取り戻せるようにと願って活
動しています」と話されました。



義援金を手渡す宮本和志さん(右)

仲間との再会にはじける笑顔 富岡町民交流会開催



久しぶりの再会に笑顔が溢れる

10月29日、福島市の「ホテル聚楽」で日
本赤十字社福島県支部主催、富岡町共催
の富岡町民交流会が開催され、町民約
180名が懐かしい仲間とのひと時を過
ごしました。

今年で3回目となる交流会は、町民の
絆を繋ぎ、長引く避難生活の疲れを癒
してもらうことを目的としています。避
難先のいわき市から参加した遠藤啓子
さん(仲町)は「遠くに避難して会えな
い友人と再会できて嬉しい」と喜びま
した。

参加した皆さんは温泉や食事、カラ
オケなど思いおもいに仲間との時間
を楽しみました。



町民と談笑する宮本町長



富岡ひよっこ連による踊りの披露

古里への思いを糧に込めて 町の部10位入賞 8区・鈴木雄翔選手は区間賞を受賞 第27回ふくしま駅伝



富岡町エントリーメンバー(敬称略)

区間	選手名	所属
1区	藁谷 希理	磐城桜ヶ丘高3年
2区	後藤 サン	富岡一中2年
3区	半谷 昂大	若松三中3年
4区	飯土井 司	福島自衛隊
5区	小林 大吾	富岡高校3年
6区	坂本 恭啓	志賀林業
7区	杉浦 壮哉	富岡一中1年
8区	鈴木 雄翔	平三中3年
9区	佐藤 杏	富岡一中3年
10区	芳賀 祐介	さくらSO陸上部
11区	染谷菜々美	富岡一中2年
12区	渡邊 智幸	福島大学付属小
13区	光島 理貴	富岡高校3年
14区	三瓶 湧大	福島高校2年
15区	千葉 美采	富岡一中2年
16区	斎藤 威	(株)オートシステム



第8区・町の部区間賞 鈴木雄翔 選手

「中学生最後の大会で区間賞を取ることができ、とても嬉しいです。来年は高校生の区間となりますが、10位以内を目標に頑張ります」

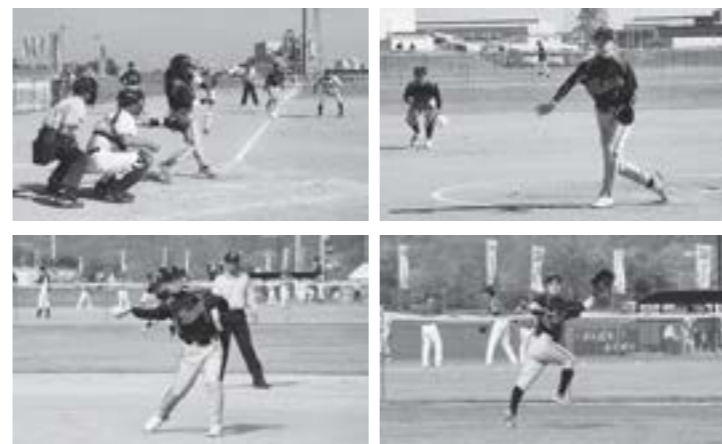
第27回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会が11月15日に行われ、富岡町は5時間38分5秒のタイムで総合27位、町の部では10位となり、第14回大会以来13年ぶりの入賞を果たしました。

富岡への思い、そして仲間との絆を糧に込め、16人のランナーは晩秋の福島路を力走。中学生区間の8区では、鈴木雄翔選手が区間総合3位の走りで町の部区間賞を受賞しました。

第27回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会が11月15日に行われ、富岡町は5時間38分5秒のタイムで総合27位、町の部では10位となり、第14回大会以来13年ぶりの入賞を果たしました。

中学、高校生を中心とした若いチーム編成で大会に臨んだ富岡町。今年から監督に就任し、自らも12区を走った渡邊智幸選手は「台頭してきた若い力が活力となり、ベテランも頑張ることができました。そして、町民の皆様の大きな声援が背中を押してくれました。今回の入賞を通過点として、来年はさらに上位を目指します」と、今後に向けての意欲を語られました。

チーム富岡、双葉町を下し大会初勝利を飾る 第2回市町村対抗福島県ソフトボール大会



双葉郡対決を制し大会初勝利をあげた選手の皆さん

10月17日に開幕し、相馬光陽ソフトボール場を会場に53チームが熱戦を繰り広げた第2回市町村対抗福島県ソフトボール大会が、31日、決勝で郡山市を破った二本松市の初優勝で全日程を終了しました。

富岡町は、今年も県内外の避難先からメンバーが集結。双葉町との対戦となった1回戦では、先発した八巻勝彦投手の好投に打線が応え、15対5のスコアでゲームで大会初勝利を飾りました。

雨の中、ナイスショットを連発 富岡町合併60周年記念 町民グラウンド・ゴルフ大会



日頃の練習の成果を競い合う選手の皆さん

富岡町合併60周年記念 町民グラウンド・ゴルフ大会が11月8日、富岡小中学校三春校グラウンドで行われました。大会には男女合わせて町民約120人が参加。あいにくの雨となりコースコンディションが悪い中、選手の皆さんはお互いの親睦を図りながらスコアを競い合っていました。

成績は次のとおりです(敬称略)。

- 男子の部
 - 1位 菅沼昌好
 - 2位 高橋吉重
 - 3位 加藤顕定
 - 4位 関根 昇
 - 5位 秋元俊男
- 女子の部
 - 1位 青山禮子
 - 2位 佐藤仁子
 - 3位 浪岡恵子
 - 4位 木村茂子
 - 5位 佐藤久子

TOMIOKA

桜通信

第44号

東日本大震災と原発事故により、私たちはふるさとを離れ、全国に分散した避難生活を強いられています。

この「TOMIOKA (とみおか) 桜通信」は、避難生活を続ける皆さんや、富岡町にゆかりのある方々のもとを訪ね、皆さんの声をお届けし、ふるさと「富岡」という「絆」をつないでいこうというものです。



郡山の冬にも慣れました (写真左は妻・冬子さん)

深谷行政区副区長。実家は小浜で、兄一家と隣同士で家を建て生活していた。避難以降、現在でも可能な限り一時帰宅に参加し、庭の草刈りなどを行っている。

深谷生活35年を目前に
実家は小浜にあり、近い将来、帰還することも可能な一方、私の自宅は帰還困難区域にあります。昭和52年に自宅を建て、3人の子どもにも恵まれ、深谷での生活が35年の節目を迎えようとしていた矢先、被災そ

して避難となりました。

自宅で大震災に遭う

私は、大工として町内の工務店に勤務していました。震災当日、仕事が休みだったため自宅で大震災に遭遇しました。職業柄、自宅がどの程度の地震に耐えられるのかということとは分かっているつもりでしたが、あの大地震は想定を超えるものでした。一方、妻と長女は町内に出かけており心配でしたが、夕方までに無事帰宅しました。その後、余震が続いていたため3人で不安な一夜を過ごしました。

翌朝の避難指示により、隣に住む兄一家と共に町を離れました。兄は自宅を新築したばかりで、新居での生活は約2カ月半と短いものになってしまいました。

転々とした避難と生活再建
避難開始当初、町からは避難先として川内村を指示されましたが、同村方面は渋滞になっていたので国道288号線を進みました。田村市内に入り、避難所になっていた春山小学校に入る事ができました。しかし、同避難所は大熊町民が優先だっ



まちの思い出



まちの思い出

ただため数日後にはそこを出て、フォレストパークあたたら、二次避難所となった白河市内の旅館を経て、郡山市内の借上げ住宅に入居し現在に至っています。

郡山市での生活に伴い、同市内の工務店で働き始めました。約10カ月ほどお世話になり、避難先のいわき市内で開業した以前の勤務先に移りました。そのため、家族を郡山市内に残して単身赴任生活となりました。しかし、年齢的なことに加えて慣れない生活で食事が偏るなど、こうした状況に耐えられなくなりました。昨年11月で仕事を辞め郡山に戻りました。現在は生きがいづくりを兼ねて週3日程度働き、休日は仕事先の仲間に誘われ山登りなどを楽しんでいきます。

気持ちは「深谷にいますま」

今年春に開かれた行政区の総会で副区長になりました。現在でも毎月一時帰宅し、住宅周辺の除草をしています。まだ帰って生活できる場所ではありませんが、深谷に戻ると「心が清々」します。今年、郡山市内に家を建てましたが、心が故郷から離れることはありません。



これからも数多くの経験を積んでチャレンジし続けます

野球が好きで、テレビ中継などで見るプロ野球選手の姿に憧れ、町スポーツ少年団野球チーム「コンバットジュニア」に入団した。避難後、野球のために始めたことが思わぬ結果と貴重な経験に繋がった。

プロ野球選手がカッコいい！
幼い頃から野球が好きで、今でもプロ野球のシーズンが始まると、テレビ中継で映し出される選手の姿に魅了されています。それがきっかけで

野球の再開と舞い込んだ大舞台
避難指示により家族で町を出て、田村市や大玉村の避難所を転々とし、平成23年7月から大玉村の応急仮設住宅で生活しています。自宅を出るとき、ボールとグローブを持ち出したため、避難所でも兄を相手にキャッチボールをして気持ちを紛らわせることができました。
また、大玉村の避難所に移ってから、同村立大山小学校に通い始めるのとほぼ同時に、地元の少年野球チーム「大山ジュニアタイガース」に入団し野球を再開しました。そうした中、小学6年生のときに夏季高校野球福島県大会の始球式に招かれました。生意気なことを言うようですが、ストライク

野球のために始めた陸上で
大玉中学校に入学しましたが野球部は軟式で、私は硬式をやりたいため、郡山市にあるヤングリーグ加盟チーム「南東北ヤングベースボールクラブ」に入団しました。軟式・硬式両方を行うことはできないので、中学校の部活は陸上部に所属しました。陸上は走込みができるなど野球に役立つと思い入部しましたが、顧問の先生から砲丸投げとジャベリックスロー（やり投げの一種）を勧められ挑戦しました。
今年8月、県ジュニア陸上競技大会ジャベリックスロー競技で優勝し、10月に横浜市の日産スタジアムで行われた第46回ジュニアオリンピック陸上競技大会に出場しました。同大会で入賞することはできませんでしたが、貴重な経験をする事ができました。



避難指示が解除されたら、再び富岡町民になりたい！

郡山市出身。県立富岡高等学校長を務め、退職後も当町との交流が続け、震災直後から様々な活動を続けている。

突然「全力疾走」となった4年間
平成16年4月、校長として富岡高校に赴任しました。初めてとなる相双地域での勤務は、新しい世界に飛び込むようなことで、地域の皆さんとの人間関係づくりなどゼロからの出発となりました。赴任後、2学期も残すところ約1カ月となった頃、双葉地区教育構想が公表されました。県立高校の場合、こうした施策は教育委員会が数年以上の準備期間

富岡の皆さんに何か役立てれば
震災と原発事故により、多くの皆さんが郡山市に避難してきました。郡山北工業高校に避難した富岡高校の生徒を経て行きます。しかし、この構想では知事部局が中心となり、事前の打診など無く決定事項として示されました。富岡に来て約半年、定年まで約3年半「何事も有る」日々が始まりました。同構想を担当する県企画調整部長の内堀氏(現知事)の熱い思いに共感し、この構想を進めることは富岡町にとって必ず役立つことになると信じて腹をくくりました。
高校を所管する県教育委員会をはじめ各方面から批判や不安が数多く寄せられました。「町の皆さんに参加していただくこと」「富岡の歴史と同窓の絆を重んじること」「校名を変えないこと」などを柱に物事を進めました。全てを並走させながら、平成18年、新学科の初年度生が入学しました。
平成20年3月、普通科最後となった生徒の卒業式が行われました。彼らは入学後、自分たちの存在が新体制に埋もれてしまうのではという不安を訴えていましたが「先生と一緒に卒業しよう」と一人ひとりに声をかけ励ましてきただけに、感無量でした。そして私にとつても教員生活最後の卒業式となり、一緒に卒業するという約束を果たし、教育現場を後にしました。

今年4月1日からおだがいさまセンターの事業として行ってきた「震災の語り人活動」を独立させ「富岡町3・11を語る会」を立ち上げ、7月には郡山市に事務所兼常設スペース「人の駅桜風舎」を開設しました。現在「語り人」として活動する町民は24人。いわき、郡山、会津、福島県内各地で「風化を防ぐ」「生きがいになる」「支援に対する感謝の気持ち」など様々な思いで活動しています。
今後も「母校で校歌を歌い隊」の活動などを通して、皆さんの心の復興や避難先で地域の方々と「共創・共生」できるよう、支援としてではなく「皆さんに寄り添う」というかたちで続けたいと思います。

富岡町県外避難者支援拠点事務所

TOMIOKA 桜(さくら) 通信



左から林さん、木幡さん、番屋さん、鈴木さん

それぞれの経験を生かして
福島県外に避難する町民の孤立を
防ぎ、一人でも多くの方が避難先の
地域になじみ自立できるようにサポ
ートを行うため、この拠点事務所が
設置されました。

この事務所業務にあたっては支
援員4人のうち、3人(木幡、番屋

今年1月、町では初めてと
なる県外避難者支援拠点事務
所が開設された。現在、4人の
支援員が業務にあたっている。
開設から間もなく1年にな
ろうとしている。

鈴木)は原発事故により故郷を離れて
いる避難者、1人(林)は埼玉県内で
生活している当町出身者です。活動を
開始して間もなく1年が経過しようと
していますが、各支援員それぞれの経
験が業務に生かされているようです。

木幡日出夫さんは町内で洋服店を
営んでいました。商売をしていたこ
とや故郷での生活期間が最も長いこ
とから、町民との交流範囲が広く訪
問先の方との潤滑剤のような役割を
発揮されています。

番屋理恵子さんは関東地方の出身
で12年ほど家族と共に夜の森駅前北で
生活していました。避難までの8カ月、
避難後さいたま市で4年ほど介護施設
に勤務していました。そのため、訪問
時にお年寄りの生活や介護などについ
て相談されることが少なくありません。

林力さんは当町出身で、実家の皆
さんを含め親類の方が各地に避難さ
れています。40年以上になる埼玉県
内での生活経験が、都会の避難先で
感じる故郷との生活の違いについ
て、その緩和や解消に向けたアドバ
イスに生かされています。

鈴木直清さんは南相馬市小高区か
ら避難し、埼玉県内で生活していま
す。南相馬市職員だった経験を生か

し、避難生活で生じる行政上の手続
きや問題についてアドバイスされる
ことが多いようです。

避難先での自立が多い一方で
避難開始から間もなく5年、訪問
先が借上げ住宅などの借家から持ち
家になることが多くなりました。住居
の上では、避難先での自立が進んでい
るよう感じられます。その一方、特
にお年寄りの方で、首都圏在住の子
どもたちと共に家を建て複数世帯同
居になったものの、子どもや孫たちは
仕事や学校のため昼間は一人になり、
地域との接点も無いため孤独になっ
てしまう。あるいは、避難まで行ってい
た農作業が、避難後の都会暮らしで
できなくなり生きがいを失い、心身と
もに弱り要介護・要支援状態になっ
てしまうことがあります。時間の経過や
環境の変化が影響し、これらのケース
が多くなったと思われます。

心の復興と絆を維持するため
避難先に自宅を建てても心は故郷
にある。多くの皆さんがそうした思
いを持つ中、それぞれの状況に応じ
てより快適な生活を送れるよう、寄
り添う活動を続けていきます。

佐藤 徳衛さん(毛萱)

TOMIOKA 桜(さくら) 通信



「コンバットジュニア」の名称でチーム復活が目標

町スポーツ少年団野球チー
ム「コンバットジュニア」の
監督(代表者)を務めている。
震災により活動を休止して
いたが、避難先のいわき市内
で再開した。

帰宅すると自宅は消えていた
原発関連の会社に勤務していた
は、震災当日の朝もいつもと変わら
なく第一原発構内の勤務先に向かい
ました。特別、何も意識することが
無い朝でしたが、生まれてから50年
以上過ごした平和な故郷の風景はそ

の時で見納めとなってしまいました
た。勤務先で震災に遭遇した後、交
通渋滞が激しいためやむを得ず徒歩
で帰宅しましたが、大熊町内で偶然
通りかかった親類の車に同乗でき富
岡に戻る事ができました。しかし、
その時すでに自宅は集落ごと津波で
流され姿を消していました。

避難先はまるで「東会津」
避難指示で町を離れ、田村市内の
避難所やビッグパレットふくしまを
経て、三春町沢石応急仮設住宅に入
居しました。三春町内に仮設住宅は
数カ所ありますが、同仮設住宅があ
る場所は特に気温が低く雪が多い場
所でした。会津地方を連想させるよ
うな冬場の様子に、私の中では「東
会津」と命名するほどでした。

私は平成23年4月から原発での勤
務を再開したため、いわき市内で単
身赴任生活を始めました。いわき市
と三春町を往復する生活で、故郷と
同じ浜風を感じられる場所で生活し
たいと思うようになりました。そん
な中、条件に合う土地を見つけるこ
とができたため自宅を建て、今年7
月からいわき市内で生活していま
す。震災当時、大熊町内の介護施設

に入所していた父は会津地方の施設
を経て、現在は自宅近くの施設にお
世話になっているため、容易に顔を
見に行くことができるようになりました。

コンバットジュニアの復活に向け
避難によりチームの活動は休止と
なりましたが、メンバー本人や保護
者の皆さんを通じて、避難先での生
活などについて連絡を取り合ってい
ます。震災当時の小学3年生は中学
1年生になり、メンバーは全て卒回
しました。そのため当時のメンバー
を集めて復活することは不可能です
が、いわき市内の子どもたちや同市
内で双葉郡内から避難生活を送っ
ている子どもたちを集めて、野球チー
ムを立ち上げるための活動をしてい
ます。

現在、いわき市の地域スポーツク
ラブに加盟し、メンバーの募集を始
めました。先月までメンバーはまだ
1人でしたが、11月にもう1人加わ
り2人となりました。野球の経験が
無い子どもたちで、ボールの握り方
など基礎からの指導ですが、心機一
転ゼロからの出発として活動を続け
ようと思えます。

町内の放射線量

富岡町が独自に実施した町内の空間線量の測定結果をお知らせします(単位：マイクロシーベルト/h)

※以前の線量と比較することを目的とし、6ヵ月前の町内線量と除染済みの測定場所を示しました。

No.	測定場所	H27.11.4-5		H27.5.1-8-9		除染状況
		天気：晴れ		天気：晴れ		
		地上1m	地上1cm	地上1m	地上1cm	
1	下千里消防屯所	0.53	0.41	0.72	0.49	除染済み
2	上千里消防屯所	0.23	0.24	0.33	0.27	除染済み
3	杉内消防屯所	0.40	0.40	0.56	0.44	除染済み
4	第二工業団地入口	1.60	2.10	2.08	2.65	
5	高津戸集会所	0.82	0.59	1.20	0.84	除染済み
6	富岡第二中学校東側	1.04	1.65	1.28	1.89	
7	新夜ノ森集会所	4.01	5.93	4.39	6.69	
8	夜の森公園	1.76	4.07	2.23	4.58	
9	松の前待避所	5.16	13.73	6.08	12.14	
10	小良ヶ浜集会所	3.63	3.54	3.81	3.91	
11	町境(小良ヶ浜地区)	2.53	4.91	6.01	6.68	
12	深谷消防屯所	3.57	3.65	4.21	4.48	
13	富岡町堂野球場	0.58	0.46	0.73	0.56	除染済み
14	観陽亭前	0.71	1.28	0.85	1.45	
15	富岡合同庁舎西側	0.66	0.80	2.00	2.24	除染済み
16	富岡養護学校	1.50	3.33	2.62	4.97	
17	老人福祉センター	4.87	8.76	5.64	9.04	
18	夜ノ森駅	4.27	4.66	4.72	5.39	
19	王塚集会所	0.81	1.19	1.21	1.55	除染済み
20	諏訪神社前	0.59	0.45	0.72	0.50	
21	上本町消防屯所	0.65	0.85	0.84	1.00	除染済み
22	上本町集会所	0.45	0.39	0.63	0.46	除染済み
23	リベラルヒルズ入口	1.20	2.98	1.50	3.56	
24	赤木集会所	0.21	0.19	0.33	0.26	除染済み
25	上郡山集会所	0.31	0.31	0.35	0.34	除染済み
26	太田集会所	0.40	0.57	0.53	0.69	除染済み
27	原下消防屯所	0.25	0.24	0.32	0.24	除染済み
28	富岡駅	0.17	0.13	0.19	0.15	
29	清水消防屯所	0.43	0.39	0.50	0.37	除染済み
30	役場	0.58	0.48	0.86	0.95	除染済み
31	浄化センター	0.18	0.16	0.18	0.15	除染済み
32	毛萱集会場	0.13	0.14	0.13	0.18	
33	富岡保育所	0.40	0.45	0.40	0.44	
34	中央児童館	0.75	1.27	0.83	1.39	除染済み
35	栄町駐車場	0.57	0.46	0.70	0.52	
36	岩井戸消防屯所	0.30	0.25	0.35	0.25	除染済み

No.	測定場所	H27.11.4-5		H27.5.1-8-9		除染状況
		天気：晴れ		天気：晴れ		
		地上1m	地上1cm	地上1m	地上1cm	
37	小浜住宅団地内公園前	1.98	3.78	2.41	4.01	除染済み
38	双葉環境センター	1.43	1.69	1.71	1.90	除染済み
39	NHK電波塔入口(浜街道)	1.37	2.68	1.73	3.55	除染済み
40	深谷集会所	1.71	2.87	2.43	3.79	
41	赤坂神社前	3.85	4.94	4.40	5.57	
42	太平洋フリーディング前	7.57	15.53	8.33	17.57	
43	みよし前交差点	7.73	16.43	7.58	16.56	
44	富岡自動車学校前	3.56	8.67	3.91	9.12	
45	リフレ富岡	2.41	3.27	2.67	3.92	
46	東洋育成園前	1.37	2.65	1.79	3.20	
47	富岡インター駐車場	1.95	2.90	2.42	3.33	
48	上手岡多目的集会所入口	1.30	2.59	1.50	2.81	除染済み
49	下千里ライスセンター前	0.80	1.50	1.49	3.44	除染済み
50	館山荘前	1.36	2.80	2.49	3.52	除染済み
51	夜の森つつみ公園	2.95	3.24	3.26	3.47	
52	総合運動場東側駐車場	1.96	2.98	2.26	3.31	除染済み
53	華の樹前	3.69	4.78	4.18	5.46	
54	宝泉寺前	1.45	2.19	1.68	2.45	除染済み
55	国道6号第二原発入口前	0.59	0.71	0.84	1.08	除染済み
56	猪狩スタンド前	0.38	0.30	0.46	0.25	除染済み
57	なべや駐車場前	0.53	1.35	0.69	1.66	
58	大東銀行富岡支店前	0.73	0.79	0.78	0.80	
59	富岡漁港	0.22	0.21	0.40	0.31	
60	サンライズイン富岡前	0.35	0.35	0.43	0.45	除染済み
61	福島富岡簡易裁判所前	1.29	2.23	1.54	2.75	
62	ヨークベニマル富岡店前	0.93	1.82	1.09	2.27	
63	今村病院前	1.71	4.62	2.17	5.13	
64	福島銀行富岡支店前	0.99	2.32	1.11	2.44	
65	龍台寺前	0.75	2.15	1.09	2.46	
66	清水団地前	0.54	0.95	1.17	2.32	除染済み
67	猪狩電気通信工業前	0.78	1.30	1.01	1.64	
68	上郡消防屯所	0.39	0.38	0.49	0.39	除染済み
69	岩井戸鉱泉	0.71	1.09	0.86	1.28	
70	富岡工業団地	0.30	0.44	0.31	0.47	除染済み
71	成沢の滝入口	0.61	1.39	0.79	1.52	
72	沼名子橋	1.03	1.74	1.38	2.17	

No.	測定場所	H27.11.4-5		H27.5.1-8-9		除染状況
		天気：晴れ		天気：晴れ		
		地上1m	地上1cm	地上1m	地上1cm	
1	本町消防屯所	0.43	0.43	0.55	0.47	除染済み
2	中央消防屯所	0.38	0.57	0.46	0.69	
3	西原消防屯所	0.34	0.27	0.41	0.30	
4	新町消防屯所	0.39	0.38	0.63	0.39	
5	大菅消防屯所	0.94	0.94	1.11	1.18	
6	王塚消防屯所	0.55	0.50	0.77	0.59	
7	赤木消防屯所	0.31	0.32	0.40	0.36	
8	大菅集会所	0.60	0.54	0.73	0.60	
9	清水集会所	0.28	0.23	0.30	0.23	
10	下千里集会所	0.48	0.38	0.53	0.41	
11	杉内集会所	0.39	0.36	0.48	0.38	
12	本町集会所	0.40	0.31	0.48	0.33	
13	下郡山集会所	0.24	0.21	0.27	0.23	
14	西原集会所	0.22	0.21	0.25	0.23	
15	大膳原児童公園	0.20	0.22	0.23	0.24	
16	岡内中央児童公園 グラウンド	0.15	0.14	0.19	0.15	
17	岡内中央児童公園 入口付近	0.27	0.27	0.32	0.29	

No.	測定場所	H27.11.4-5		H27.5.1-8-9		除染状況
		天気：晴れ		天気：晴れ		
		地上1m	地上1cm	地上1m	地上1cm	
18	岡内東児童公園	0.20	0.20	0.40	0.29	除染済み
19	本町なかよし広場	0.36	0.27	0.24	0.16	
20	太田第二なかよし広場	0.22	0.16	0.39	0.33	
21	西原なかよし広場	0.31	0.29	0.25	0.22	
22	学びの森	1.05	1.17	1.24	1.27	
23	スポーツ交流館	0.41	0.43	0.50	0.50	
24	総合体育館	0.40	0.31	0.38	0.38	
25	武道館	0.66	1.20	0.77	1.44	
26	富岡第一中学校 校庭	0.11	0.12	0.14	0.14	
27	富岡第一中学校 駐車場	0.49	0.63	0.58	0.73	
28	富岡第一小学校 校庭	0.12	0.12	0.14	0.14	
29	富岡第一小学校 駐車場	0.29	0.29	0.35	0.33	
30	富岡幼稚園 校庭	0.23	0.20	0.28	0.26	
31	富岡幼稚園 駐車場	0.24	0.25	0.29	0.28	
32	総合福祉センター	0.45	0.63	0.55	0.74	
33	蛇谷須浄化センター	0.94	0.96	1.14	1.17	
34	小良ヶ浜浄化センター	0.60	0.57	0.83	0.69	

測定器：γ線用シンチレーションサーベイメーター(日立アロカメディカル社製)

個人線量計の点検校正のお知らせ

町で貸出を行っている個人線量計DOSEe 【回収する個人線量計】

の点検校正を、12月より実施しています。

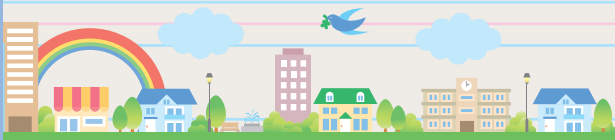
線量計をお持ちの方を対象に回収資材をお送りいたしますので、案内文をご覧ください。線量計本体のみを返送してください。

個人線量計の性能維持のためにご協力をお願いいたします。

回収期限：平成28年2月26日(金)



図 健康福祉課 放射線健康管理係



発行／富岡町
編集／富岡町役場総務課秘書広報係

〒983-0201 福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5
TEL: 0120-33-6466 FAX: 024-961-3441

富岡町公式ホームページ <http://www.tomioka-town.jp/>
富岡町公式フェイスブック <http://www.facebook.com/town.tomioka.fukushima>

Eメールは富岡町公式ホームページの「メールはこちらから」をクリックし、各課あてにお送りください。

猪狩タケ子さん(下郡山)に100歳賀寿贈呈



10月25日で満100歳を迎えた猪狩タケ子さんの知事賀寿贈呈式が、同日に避難先であるいわき市の自宅で行われ、集まったご家族や関係者が健やかな長寿を祝いました。

猪狩さんは、大正4年町内下郡山生まれ。昭和9年に結婚し、6人の子宝に恵まれました。

式では、相双保健福祉事務所長から知事賀寿の記念品、宮本町長から賀寿記念品と祝い金が贈られました。

今年度の富岡町100歳賀寿贈呈者は、猪狩さんで3人目です。

さくら会がいわき市グラウンド・ゴルフ愛好家と交流会



さくらの会主催のグラウンド・ゴルフを通じた交流会が10月29日、いわき市の21世紀の森公園で開催され、さくらの会をはじめとする富岡町民50人といわき市グラウンド・ゴルフ協会に所属する愛好家50人が参加しました。

初心者からベテランが集まり、天候にも恵まれて和気あいあいとした雰囲気の中で気持ちのいい汗を流しました。

グラウンド・ゴルフに初めてチャレンジした渡辺長一さん(さくらの会副会長)は、「こんなに楽しいことは知らなかった」と笑顔を見せました。

上手岡麗山神社の神楽舞

写真提供：西山 栄(小浜)



11月1日に南相馬市で行われた「ふるさとの祭り2015 in 南相馬」で披露された、上手岡麗山神社の神楽舞の1コマです。

この神楽舞は、県重要無形民俗文化財に指定されている「麗山の火祭り」の舞台となっている麗山神社に、古くから伝わっています。

— 今月の表紙「第27回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会」 —

13年ぶりに町の部入賞を果たした、ふくしま駅伝富岡チーム。懸命に走るランナーの姿は、ふるさと富岡を思う町民の「心の復興」につながりました。



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。